

きずな

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性を備え、
力強く生き抜く生徒の育成」

ペップトーク

「ペップトーク」という言葉、あまり耳にすることはないかと思います。これは、試合直前に、監督やコーチが選手に対し行う短いスピーチのことです。部活動などの試合の際に、顧問の先生は生徒に対してこのペップトークを行います。いいペップトークが選手に実力以上の力を出させることもあるのです。

ペップトークには、「事実を受け入れ」「捉え方を変換し」「背中を一押しする」という3つのステップがあります。この中の「捉え方を変換する」という技術は、その言葉を人にかけるとき、または、自分自身に言い聞かせるときに大きな意味をもちます。

ペップトークは試合前に選手にかける言葉ですので、ポジティブな言葉を使います。例えば、「難しい」は「やりがいがある」、「ミスをするな」は「今の力で思い切りやってこい」のように、表現を変えるのです。

私たち大人が、子どもたちに声をかけるときに、この「捉え方の変換」をぜひ行いたいものです。それによって、子どもたちに「挑戦」へ向かう意欲を高めることが出来るはずで

す。
これが習慣化すれば、自分自身に対するセルフペップトークでも、「よし、自分の今の力で思い切ってやってみよう」と声に出せるようになると思います。

挑戦の後には「成功」か「成長」が待っています。



学校行事の意味

2学期は、SF（スポーツフェスタ 従来の体育大会）やCF（カルチャーフェスタ 従来の文化祭）といった学校行事が行われます。これらは、学校での学習を発表する機会という意味合いをもっていますが、一方で、このふたつの行事は「生徒の、人としての成長を促す」という側面ももっています。

このふたつの行事を実施するためには、当日に向けて長期間の準備が必要となります。その準備をする中で、生徒は、「悩む場面」や「他の生徒と対立してしまう場面」などを経験します。時にはそのことで本当につらい思いをすることさえあります。しかし、その困難を教師や仲間と一緒に乗り越えたとき、生徒は一回り大きく成長するのです。

これを読まれている皆さまもそうした経験をされた記憶がありませんか？

2学期の始業式で、生徒に「2学期は実り多い学期にしましょう」と話をしました。行事を通して生徒が大きく育ってくれるように私たち教師もサポートしてまいります。



HP 閲覧ありがとうございます

本校HPのアクセス数が着々と伸びています。多くの方が学校の様子に興味を持ち、見ていただいているお陰だと感謝しています。



写真や動画で、学校の様子を紹介していますので、まだご覧になったことがない方はぜひご覧ください。

右側のQRコードを、スマホの読み取りアプリを使って読み取ることで、ご覧いただけます。